

[通常機体]ト A 「機動戦士ガンダム」

ドーベンウルフ

機体名	ドーベンウルフ	画像
型式番号	AMX-014	
英語名	DOVEN-WOLF	
機能分類	NT 専用 MS	
所属	ネオジオン	
パイロット	ラカン・ダカラン他 (ネオジオン NT 兵)	
装甲材質	ガンダリウム・コンボジット	
装備	メガ・ランチャー (ランチャー時出力 40.2MW、ライフル時出力 12.4MW) 胸部メガ粒子砲 × 2 (出力 5.3MW) 肩部ビーム・キャノン (出力 4.2 MW) 腕部ビーム砲 (出力 2.3MW) インコム・ビーム砲 (出力 4.2MW) ビーム・サーベル × 2 (出力 0.56MW) 30mm バルカン砲 × 2 (装弾数 300 発) ミサイルランチャー (AMS-09R 型ミサイル × 2、AMS-01H 型ミサイル × 24) グレナード弾 隠しランチャー × 2 ヒート・ロッド (サイコミュ搭載前のみ) 隠し腕 (ラカン機専用)	
作品名	機動戦士ガンダム ZZ	
参考書籍	ガンダムメカニクス 1/144 <u>ドーベンウルフ</u> キットインスト	

内容

簡易サイコミュシステム (インコム) を装備したネオジオンの量産型 MS。

簡易サイコミュでは、コンピューター制御により擬似的にサイコミュを再現するため、パイロットの NT 能力の多寡を問わずオールレンジ攻撃が可能である。

単体でメガランチャーの運用も可能であり、総合火力は極めて高い。

ネオジオンがグリプス戦役の際、接收した MRX-010 サイコガンダム Mk-II の設計思想が導入された機体であり、機体各所のメガ粒子砲や有線コントロール (一部機種は無線) で射出が可能な腕など、共通する点も多い。

ラカン専用機だけレーザー誘導可能な腕とサーベルやライフルを持つ事が可能な隠し腕を持つ。

また、サイコミュの導入が決定する以前は、格闘戦用のヒート・ロッドが装備されていた。

第 1 次ネオジオン抗争の末期に量産が開始され、「グレミーの反乱」の際には反乱軍の「スペースウルフ隊」の乗機として用いられた。

しかしハマーン軍との激戦の中、全機が撃破されている。

備考

ちなみに劇中、グレミーが士気を高めるためにグレミー軍の機体はシルバーに塗装することを命じたが、ラカンはそれに猛反発し、塗装を認めなかった。

AMS-09R 型ミサイル

ミサイルランチャーに 2 発搭載されており、対艦用で射程距離が大きい。

AMS-01H 型ミサイル

ミサイルランチャーに 24 発搭載されており、対 MS 用で ガザ D が装備しているものと同タイプである。

スペック

項目	内容
全高	25.9m
頭頂高	22.0m
本体重量	36.8t
全備重量	74.5t
ジェネレーター出力	5250kw
スラスタ-推力	87300kg
(移動用ロケット推力)	32800 kg × 221700 kg × 1
姿勢制御用バーニア	17 基
センサ有効半径	12000m